



山辺町自主防災会連絡協議会 会長

なか かずよし  
中 収克 さん (近江5)

自主防災会は、組織したから安心ということではなく、継続的に活動できるように維持していくことが大切だと思います。東日本大震災をきっかけに、防災会の活動に対する理解と協力が高まったと感じています。活動を知ってもらい、参加してもらうことが大事だと思いますし、消防団などとも連携しながら、繰り返し訓練を重ねていくことが必要だと思います。

地震発生を想定したシミュレーションを行う図上訓練



非常時の炊き出しを想定した  
応急給食訓練

AED（自動体外式除細動器）  
を用いた応急手当講習



災害時などに役立つロープの  
結び方を学ぶロープワーク訓練



土のうを作って積み上げる水防訓練



# 自慢⑤ 安全・安心 協働で取り組む 災害に強いまちづくり

**全** 国的に台風や豪雨などその被害規模も甚大となっております。これまで地震が少なかった地域でも巨大地震が発生し、「想定外」が当たり前の事態に直面しています。山辺町も過去に局地的な水害や土砂災害を受けていますが、比較的自然災害が少ない地域で、広範囲・長期にわたる被害は、ほとんど経験していません。だからこそ、災害に対する意識と備えを十分に高めておく必要があります。町消防団では、迅速に災害に対応できるように、日頃から訓練を重ねています。また、各町内会などで組織している自主防災会も「自分の地域は

自分たちで守る」という志のもとで、さまざまな活動を繰り返してまいります。こうした協働の取り組みを継続し、災害に強いまちづくりを進めます。

## 地域を守る頼もしい力「自主防災会」

いざ災害が発生した際に、地域の中で大きな力を発揮するのが自主防災会です。地域に根差した自主的な防災活動のほか、町主催による消防演習や防災訓練などにも参加し、災害に対応するための知識や技能の向上を図っています。行政による災害対応に先駆けて、地域で即座に初期消火活動や救助活動などに取り組む組織として、町全体の防災力を高めるために欠かせない組織となっています。



段ボールベッドづくり (防災訓練)



出前講座に参加 (防災訓練)



消火栓からの放水 (消防演習)



災害伝言ダイヤル体験 (防災訓練)



土のうづくり (近江地域)



煙の怖さを体感 (大門地域)

山辺町消防団 団長

すがい やすひろ  
菅井 康博 さん (宿)

近年、全国的に、これまで経験したことのない規模の地震や風水害など、複雑多様化した災害が多くなっています。山辺町でも「まさか」の事態が起きないとは限りません。町全体の防災力を高めていくためには、消防団と地域のみなさんとの協力が欠かせません。これからも地域と一体になった取り組みに全力を挙げていきたいと思っています。

